

ハイライトよねやま 58

(財)ロータリー米山記念奨学会
2004年12月10日発行

1. 寄付金速報 ~今年も残り1ヵ月を切りました.....

11月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約2千4百万円の減少でした。普通寄付金が2.4%減、特別寄付金が4.3%減です。今年度も5ヵ月を過ぎましたが、このままの寄付状況が続きますと、2005年6月末の寄付金総額15億円達成が危ぶまれます。事務局でも、寄付金減少の原因を分析し、今後の寄付増進のための方策を思案しております。今後の米山奨学事業を縮小させないためにも、ロータリー会員の皆様に当会の事業内容をご理解いただけるよう、広報へのご協力をよろしくお願いいたします。

2. ロータリーゾーン研究会に参加して

ロータリーゾーン研究会のプログラムに「ロータリー米山奨学事業」が加えられて、今年で3年目となります。これは、米山奨学事業への認知が十分に高まったこと以上に、ロータリー全体の危機感が叫ばれる中で、日本のロータリーの発展のために、今後いかなる努力が必要かを共に考える時期に来たからだと言えるでしょう。

今回の研究会に参加して、現在、米山奨学事業が直面している問題と課題への取り組みの糸口が見えてきました。米山奨学事業が日本のロータリーの「多地区合同事業」である認識の欠如、奨学金への寄付と事業の維持はロータリー会員の義務と責任であることへの理解不足、日本のロータリー独自の事業とする自負と同時に、社会的責任を伴っていることへの自覚を深めること.....これらの重大な課題に、われわれは今後取り組んでいかなければなりません。

また、山口大学小谷典子教授の基調講演『ロータリアンの意識調査』での現状分析につづいて、各報告者から入念な準備に基づく報告と問題提起がなされ、分科会・全体討議の議論は一段と盛り上がりました。ロータリー運動の根源への回帰 世代間の溝を埋めるツールとしての“情報”のあり方 会員相互の信頼関係を深める“四つのテスト”の今日的理解 魅力あるリーダーとなるために 変化する時代への積極的取り組みなど、これからの日本のロータリーの方向・目標を見定める示唆に富んだ研究会でした。
(事務局長・宮崎幸雄)

3. ネパールとの交流を米山学友がお手伝いします!



「ロータリーの友」12月号のよねやまだより(P.40-41)で紹介した米山学友のラム・チャンドラ・ブサルさん【ネパール/愛媛大学大学院/1999-2000年/第2670地区北条RC】から、嬉しい申し出がありました。

ブサルさんは、日本留学中に愛媛県から任命されて日本・ネパール親善大使を5年間務め、ネパール農業担当省の研究職にある現在でも、両国の国際交流推進のために、数々のボランティア活動に積極的に携わっています。

「私も、私の家族も、日本の方々との友情や交流を深めることに関心をもっています。ここ、カトマンズから日本のロータリアンの皆さんのお役に立つことができれば、とても嬉しく思います」とブサルさん。「ネパールを訪れる方、ネパールに関する情報が必要な方は、どうぞいつでもご連絡ください」とのことです。

Dr. Ram Chandra Bhusal: P.O.Box 10741, Tahachal, Kathmandu, Nepal
E-mail bhusalrc@hotmail.com (メールは英語でお願いいたします)
Tel&Fax 米山奨学会事務局へお問合せください。

4. 米山学友から陶芸作品が寄贈されました



和歌山県龍神村を拠点に、新進陶芸家として、また中学・高校の陶芸講師として活躍する張 義明さん【台湾 / 和歌山大学大学院 / 1997-99 年 / 第2640 地区和歌山城南 RC】 「ロータリーの友」2004 年 3 月号のよねやまだよりで紹介した彼の奮闘記録を覚えている方も多いでしょ。不慮の事故から立ち直り、懸命に陶芸に打ち込むその姿は、多くの人に感動を与えました。

このたび、その張さんから米山記念奨学会に陶芸のオブジェが寄贈されました。『米山奨学事業への感謝を込めて、奉仕の心を表現したい』と語ったその作品は、一對のオブジェを寄り添うように並べると、不思議な温かみを醸しだします。張さんは、今年、龍神村に念願のアトリエをオープンし、秋には 2 度目の個展を開きました。



5. 米山奨学会理事 中原勇治氏 (2500 地区) および 元常務理事 濱野堅照氏 逝去

国際ロータリー第 2500 地区の理事 中原勇治氏 (留辺蘂 RC) が 10 月 14 日にご逝去されました。享年 81 歳でした。中原氏は、1985-86 年度の同地区パストガバナーで、1999 年 8 月から当会理事となられ、任期は 2005 年 8 月までの予定でした。2001 年から 2003 年の 2 年間は、常務理事としてもお務めいただきました。

また、元常務理事 濱野堅照氏 (東京江北 RC) が 11 月 18 日にご逝去されました。享年 78 歳でした。濱野氏は 1987 年から 4 年間当会理事 (第 2580 地区) として、また 1991 年から 2001 年 8 月までの 10 年間は常務理事としてお務めいただきました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、両氏のご冥福をお祈りいたします。

《重要なお知らせ》

ロータリー米山記念奨学会への特別寄付金に対しては、**税法上の優遇措置 (寄付金控除)** が受けられます。1 年間 (1 月 ~ 12 月) に 1 万円以上の特別寄付をされた方には、来年 1 月未までに申告用領収書をクラブにお送りいたします。来年の確定申告は、**12 月 30 日 (木)** までに入金されたご寄付が対象となります。

《年末年始の休業について》

米山奨学会事務局は、年末年始は 12 月 28 日 (火) ~ 1 月 5 日 (水) の間休業となります。1 月 6 日 (木) より通常業務となりますので、よろしく願いいたします。

今年も 1 年間、ありがとうございました。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当: 峯・野津・大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/